（実践報告）　　　　　岡山市立御津公民館

「出張出前講座」

≪ねらい≫

町内会単位で行われているサロンや健康教室が、居場所や見守りの場になっています。「今月は何をしようかな」と悩まれている皆さんが、サロンや健康教室をみんなで続けて頑張ろうと思ってもらえるように、映画やマジックなど参加者の皆さんが楽しんでもらえる内容を提案し、無料で地域の公会堂などへ出前出張しています。

≪今年のメニュー≫

毎年少しずつ内容を変えています♪

・座ってヨーガ
・高齢者リトミック
・名画鑑賞
・マジックショー
・シールアート

≪地域の方の声≫

「サロンは友達と会えるから、
毎月楽しみにしているの」
「大笑いでとても楽しかった」
「懐かしい映画だったなあ」
あったかいみんなの居場所です

≪効果≫（事業担当者より）

３月頃にちらしや公民館だよりで案内をして、年間約１５回実施しています。募集定員を超える申込みや締め切り後の申込みがあり、ニーズにあっているという手ごたえと、案内の方法や職員がいなくてもできるような内容にする等の改善できることがあると感じています。

今後も継続して地域のサポートを行いたいと思っています。

実践報告事例（別紙２）

あわくら会館（西粟倉村）

新あわくら会館ワークショップ/ カフェ＆トーク

◆ねらい

令和 2 年春に公民館と図書館機能を併せ持つ生涯学習施設「新あわくら会館」がオープンします。今年度は、施設ビジョンの「あつまる、つながる、やってみる」を実現していくために、子育て世代、地域おこし協力隊、新成人、新施設に関心をもつ村民向けのワークショップ（8 回）を実施し、新施設や村の中でやりたいこと、運営のあり方について意見を交わしました。8 月からは村民が自由に参加出来る「新・あわくら会館カフェ&トーク」を月 1 回のペースで開催し、「立ち寄りたくなる施設になるためには」、「図書館に置きたい本、雑誌、マンガ」、「図書館の良いところ、変わって欲しいところ」などをテーマに、「新あわくら会館」についてお茶を飲みながら楽しく話し合いながら、村民と一緒につくる施設を目指しています。

◆活動の様子

◆効果

新・あわくら会館でやりたいことや運営のあり方について、村民の生の声を聞くことができました。村民から出された意見から、村民企画講座やお菓子づくり体験会、図書館にセルフカフェコーナーの開設など新たな取り組みが生まれました。春のオープニングイベントでは、地域おこし協力隊みなさんと連携しながら企画を実施することになっています！

◆参加者の声

「行くたびに新しい本がある図書館になってほしい」、「地域の情報に触れられる場所になってほしい」、「村民と一緒に作る手形アートをやりたい」、「村民参加の聖火リレーをしたい」、「夜の時間にゆっくりと利用したい」等、多数意見が出されました。